Ｒ７海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務（２）

町道馬路線（馬路橋）

海部郡海陽町高園字馬路

設計図面

令和8年7月

公益財団法人　徳島県建設技術センター

四国建設コンサルタント株式会社

ISO9001（MSA-QS-305）・14001（MSA-ES-117）認証取得

R７海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務（２）	
設計図面【全17葉】	
1.	橋梁位置図
2.	補修一般図
3.	塗装塗替工詳細図(その1)
4.	塗装塗替工詳細図(その2)
5.	塗装塗替工詳細図(その3)
6.	支承取替工詳細図(その1)
7.	支承取替工詳細図(その2)
8.	支承取替工詳細図(その3)
9.	支承取替工詳細図(その4)(参考図)
10.	支承詳細図
11.	支承部補修詳細図
12.	水切り設置工詳細図
13.	伸縮装置取替工詳細図
14.	伸縮装置非排水化工詳細図(その1)
15.	伸縮装置非排水化工詳細図(その2)
16.	下部工補修詳細図
17.	施工計画図(参考)

橋梁位置図 S=1:25000

（馬路橋）



出典：国土地理院発行2.5万分の1地形図 電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成

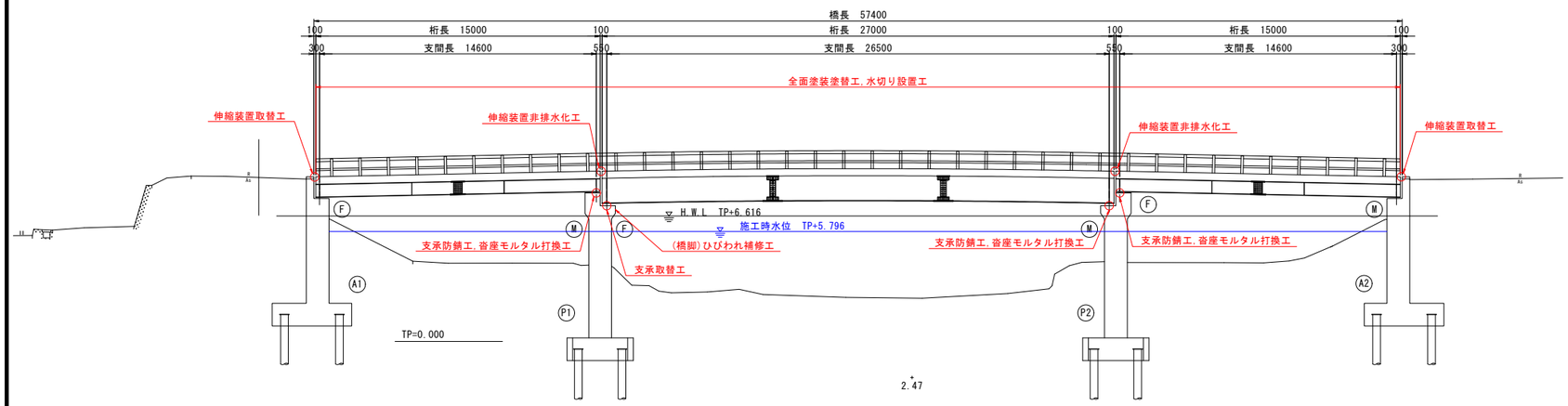
【馬路橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	橋梁位置図		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

補修一般図 S=1:150

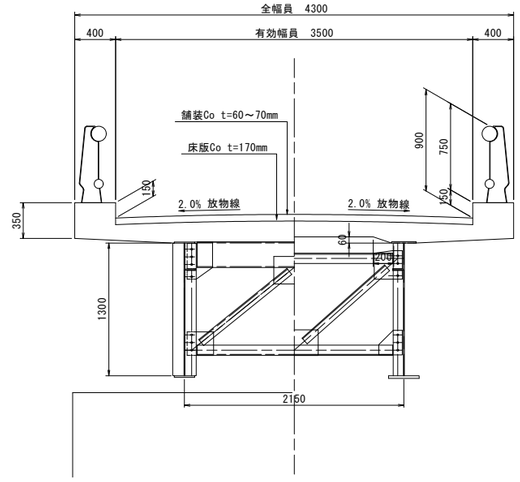
（馬路橋）

側面図

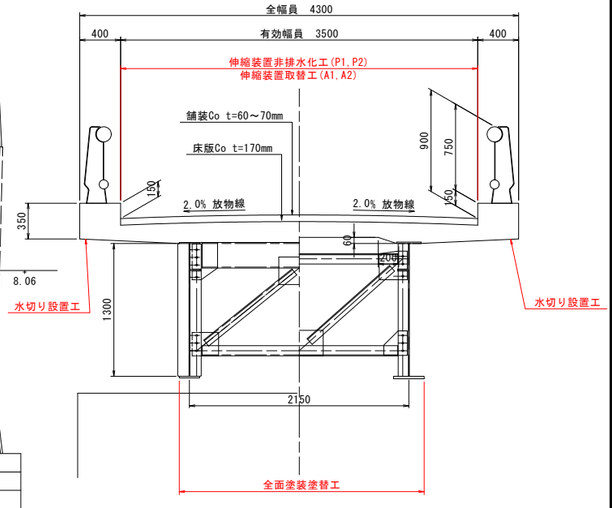


断面図 S=1:30

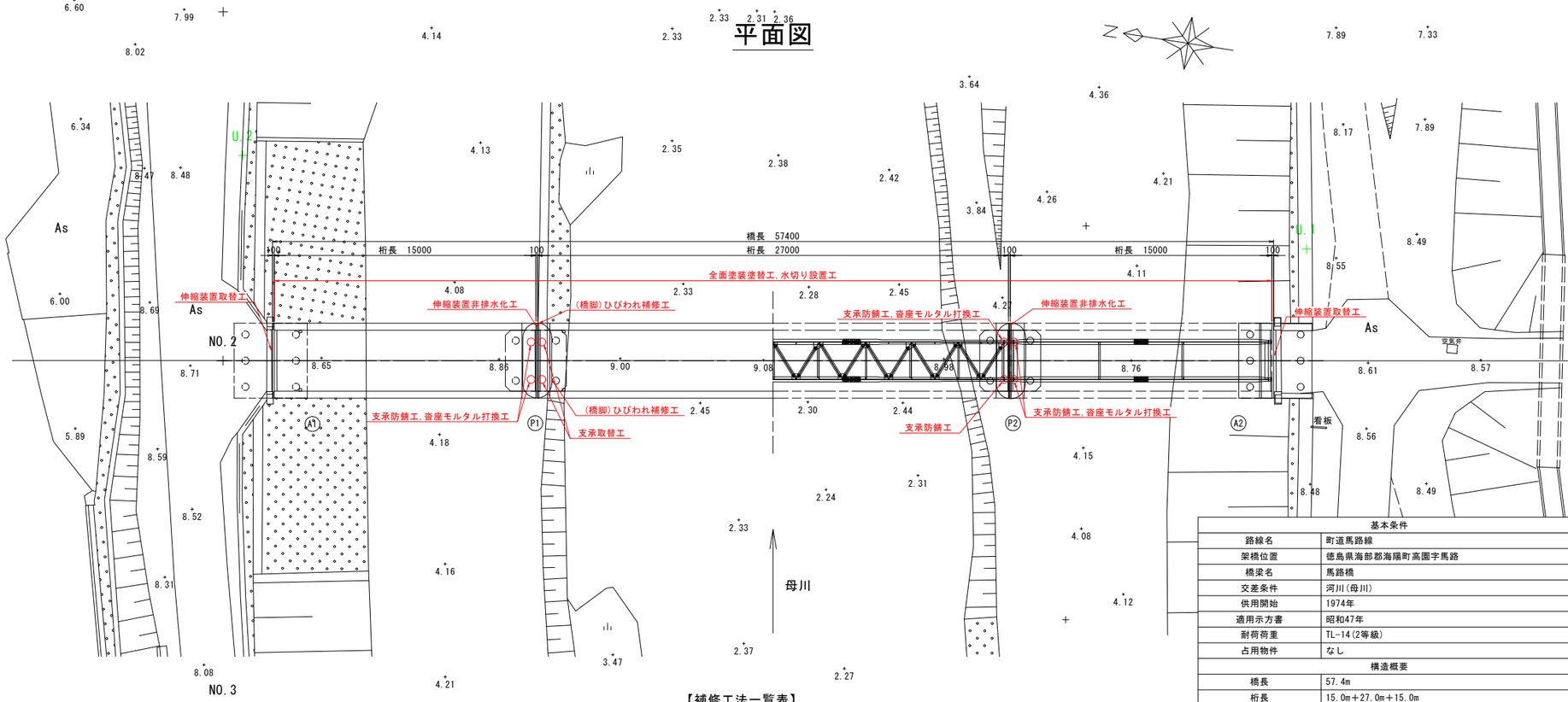
補修前



補修後



平面図



【補修工法一覧表】

項目	補修工法	対象部材
上部工補修	全面塗装塗替工	鋼部材
	水切り設置工	張出床版
	支承取替工	第2径間起点側
	支承防錆工	第1径間終点側，第2径間終点側，第3径間起点側
	沓座モルタル打換工	第1径間終点側，第2径間終点側，第3径間起点側

項目	補修工法	対象部材
下部工補修	ひびわれ補修工	P1橋脚梁部

項目	補修工法	対象部材
付属物補修	伸縮装置取替工	A1，A2橋台
	伸縮装置非排水化工	P1，P2橋脚

基本条件		
路線名		町道馬路線
架橋位置		徳島県海部郡海陽町高園字馬路
橋梁名		馬路橋
交差条件		河川（母川）
供用開始		1974年
適用示方書		昭和47年
耐荷荷重		TL-14（2等級）
占用物件		なし
構造概要		
橋長		57.4m
桁長		15.0m＋27.0m＋15.0m
斜角		90° 00′ 00″
幅員構成	全幅員	4.30m
	有効幅員	3.50m（両側地覆W=0.40m）
構造形式	上部工形式	単純鋼溶接H桁橋＋単純鋼溶接鈑桁橋＋単純鋼溶接H桁橋
	下部工形式	逆T式橋台2基、逆T式橋脚2基
	基礎工形式	杭基礎
補修工事及び点検履歴		
点検履歴		2023年：定期点検
		2020年：定期点検

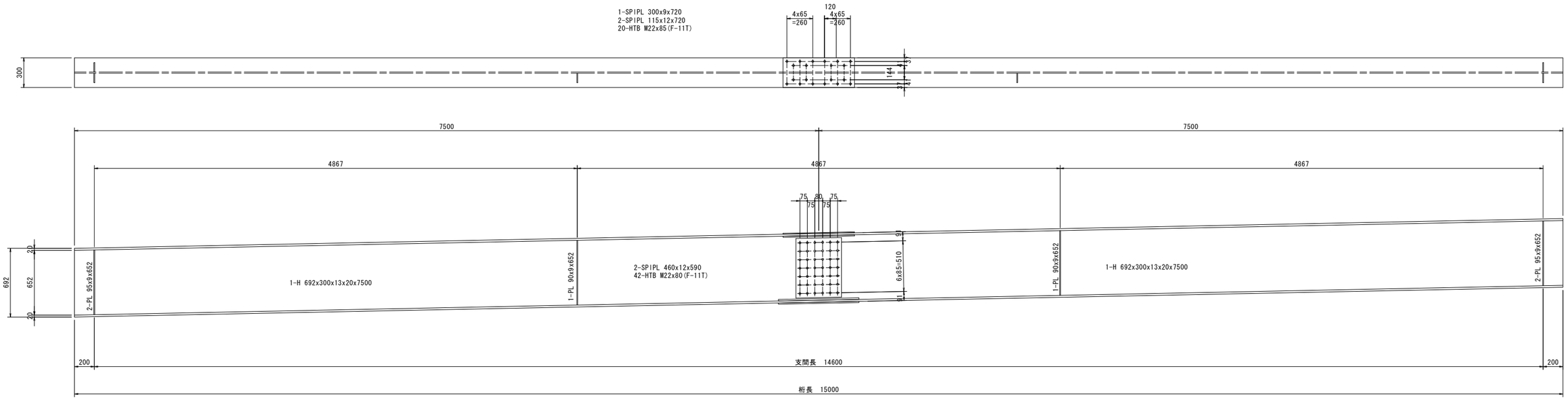
【馬路橋】

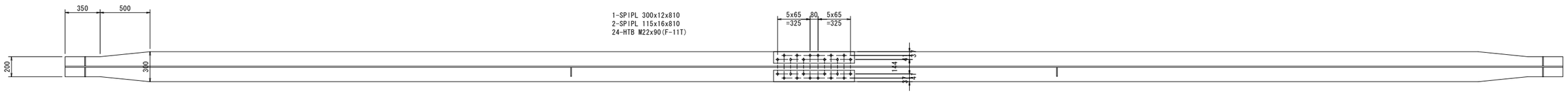
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	補修一般図		
縮尺	1：150	図面番号	2 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

塗装塗替工詳細図(その1) S=1:20

(馬路橋)

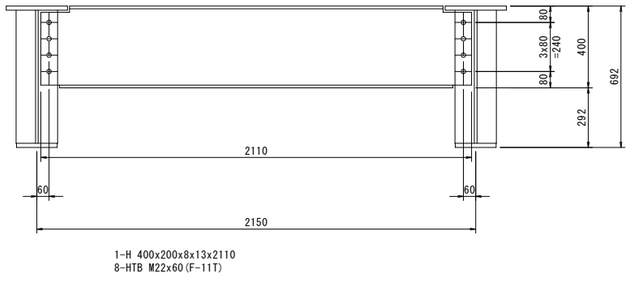
主桁(側径間)





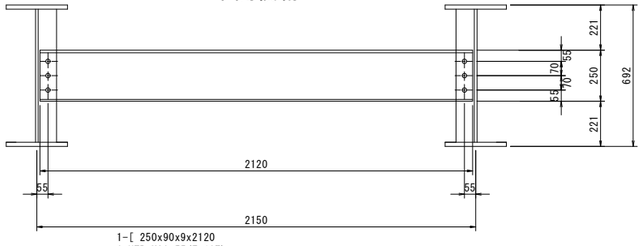
横桁 S=1:15

端横桁



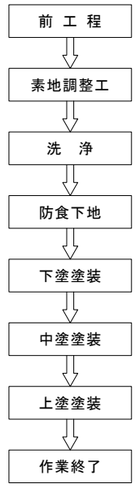
1-H 400x200x8x13x2110
8-HTB M22x60(F-11T)

中間横桁

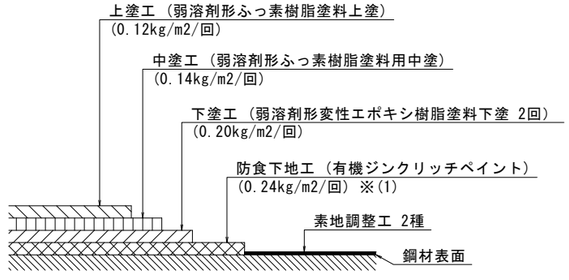


1-[250x90x9x2120
6-HTB M20x55(F-10T)

塗替え塗装エフロー図



塗替え塗装要領



※(1) 素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、
有機ジンクリッチペイントの使用量600g/m2とする。

Rc-II塗装系 (はけ,ローラー)

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	(240)	1～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	

※十分な養生と飛散防止を行うこと。

注記)

1. 既設構造物寸法・形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し工事に反映すること。
2. 塗装仕様は、Rc-II塗装系を基本とする。
3. 施工前に腐食範囲の進行を確認し、適宜調整を行うこと。
4. 塗装施工の際は飛散防止に留意すること。
5. 素地調整作業時に、断面減少及び孔食が生じた場合には金属パテ(エポキシ系)にて断面整形を行ったのち塗装を施すこと。
6. 設計段階では塗膜剥離剤の塗布回数は1回としているが、施工前に剥離試験を行い、適切な塗布量及び塗布回数を確認すること。

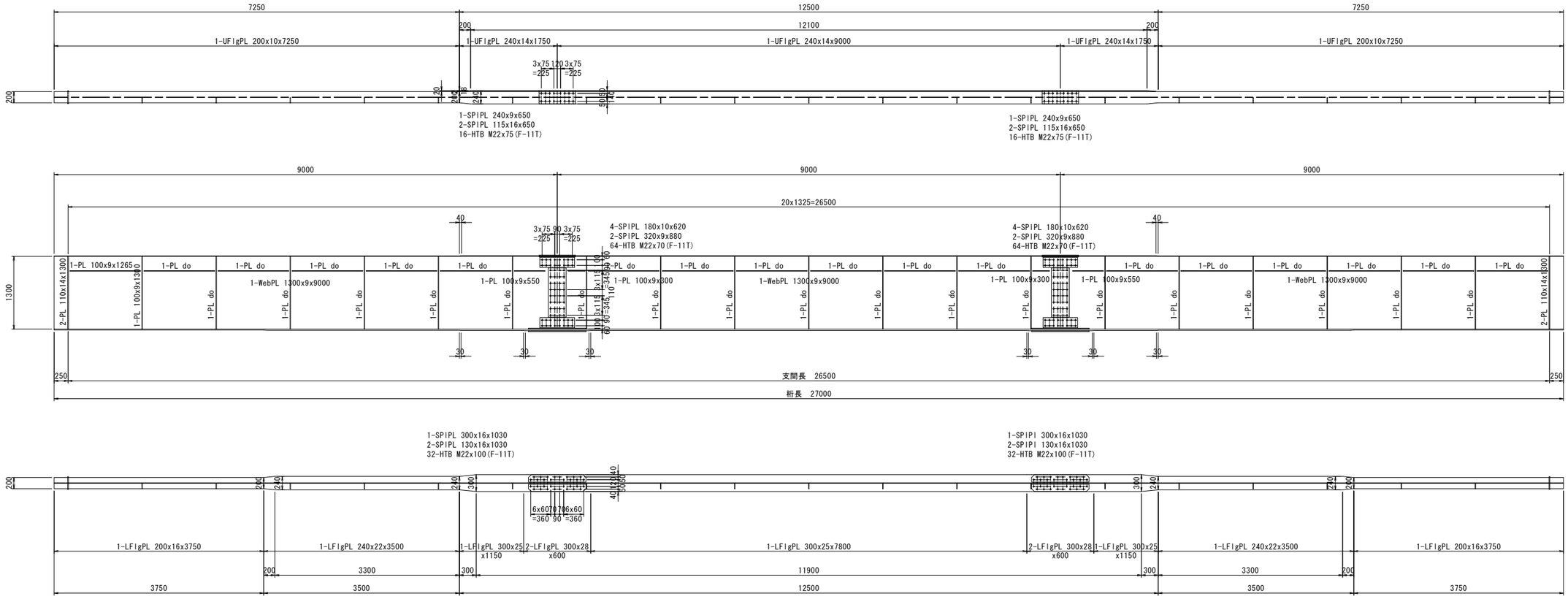
【馬路橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	塗装塗替工詳細図(その1)		
縮尺	1:20	図面番号	3 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

塗装塗替工詳細図(その2) S=1:40

(馬路橋)

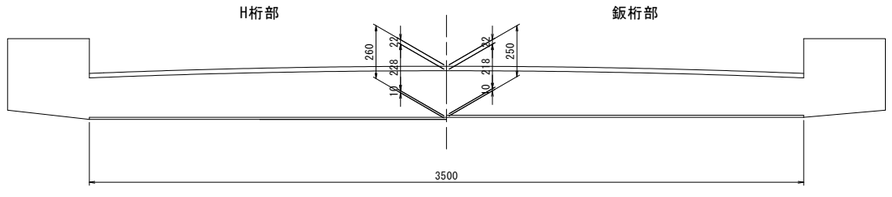
主桁(中央径間)



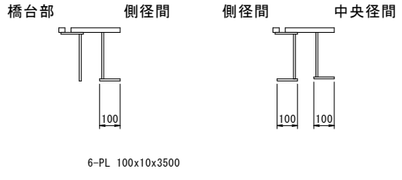
伸縮装置 S=1:15

※L-Flg下面のみ塗替対象

断面図



側面図



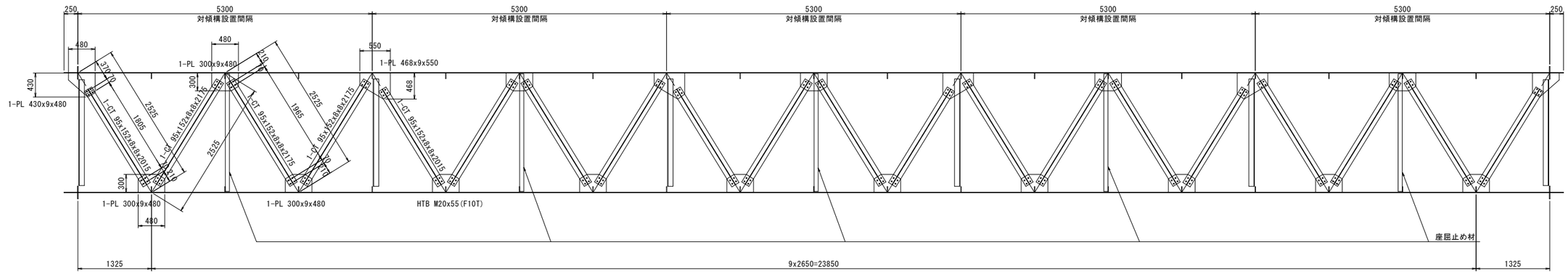
【馬路橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	塗装塗替工詳細図(その2)		
縮尺	1:40	図面番号	4 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

塗装塗替工詳細図(その3) S=1:40

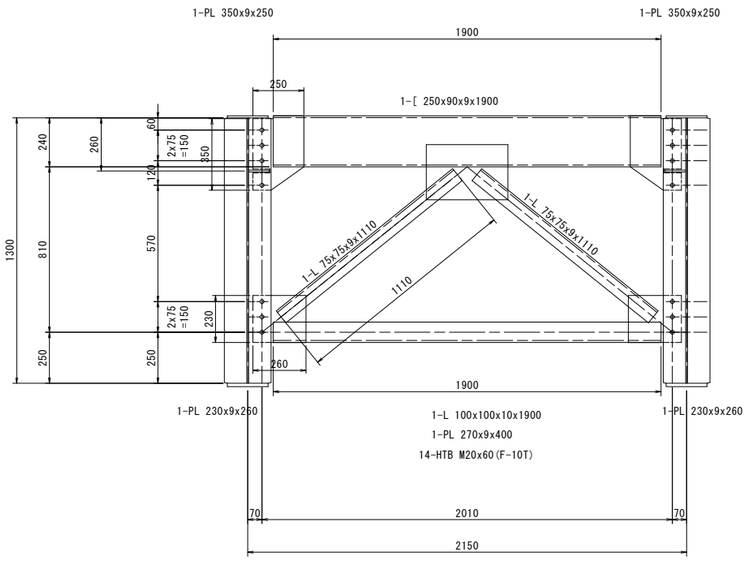
(馬路橋)

下横構(中央径間)

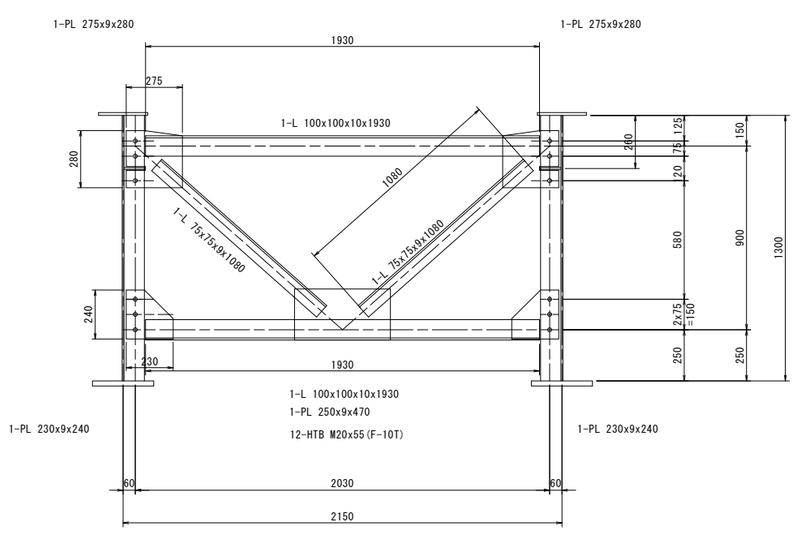


対傾構 S=1:15

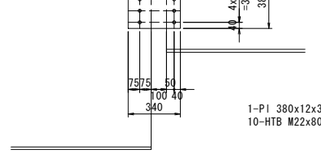
端部



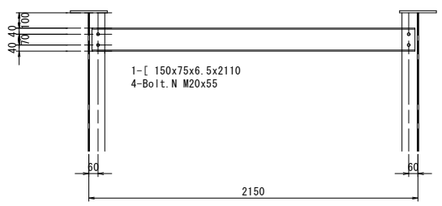
中間部



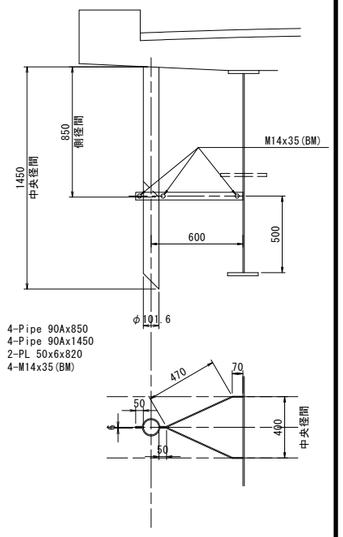
落橋防止板 S=1:20



座屈止め材 S=1:20



排水装置 S=1:20



【馬路橋】

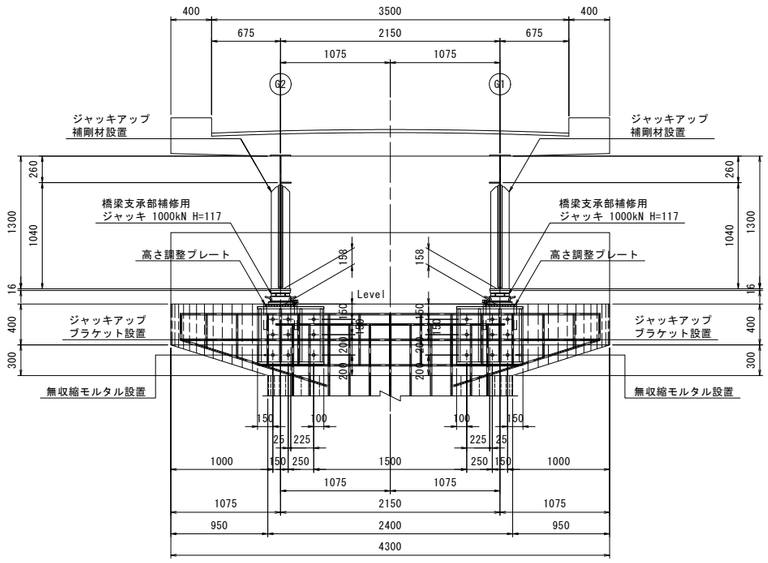
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	塗装塗替工詳細図(その3)		
縮尺	1:40	図面番号	5 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

支承取替工詳細図(その1) S=1:30

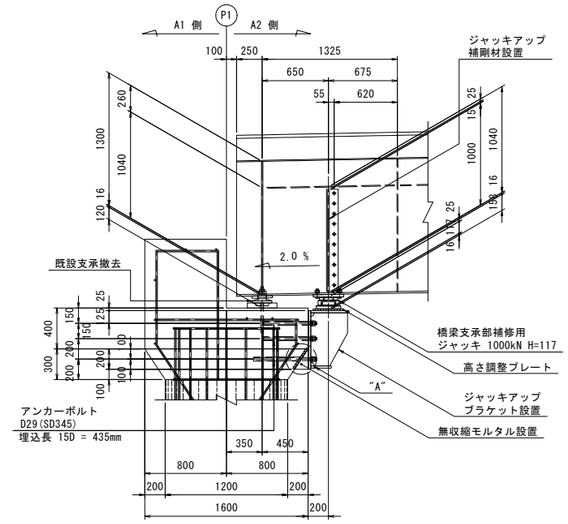
(馬路橋)

ジャッキアップ取付図

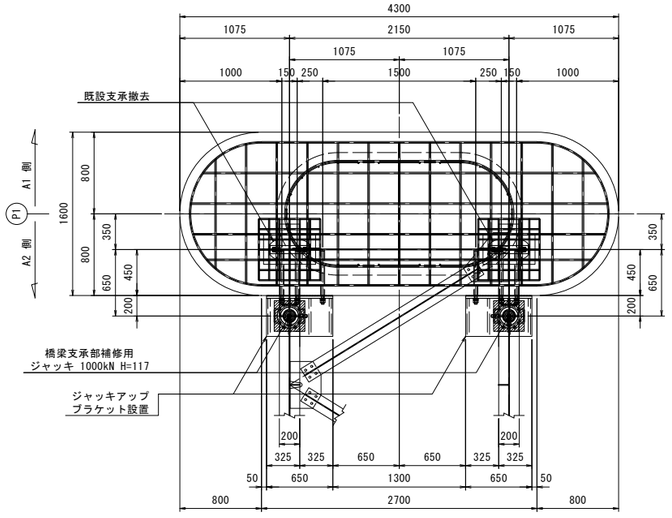
正面図



側面図



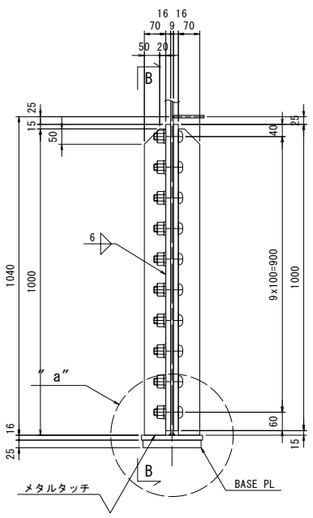
平面図



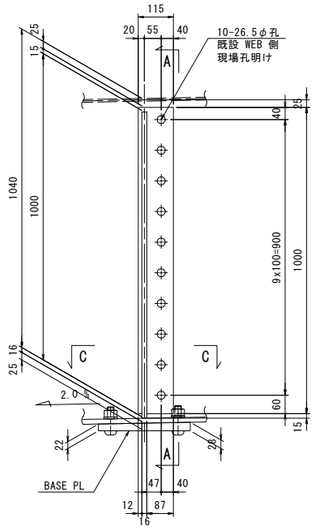
ジャッキアップ補剛材詳細 S=1:10

A-A

注) G1は勝手反対のこと。



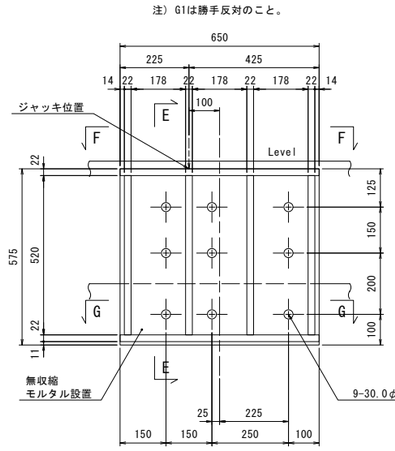
B-B



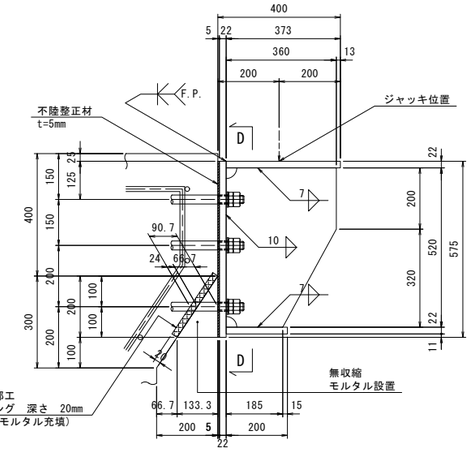
ジャッキアップ用ブラケット詳細 S=1:10

D-D

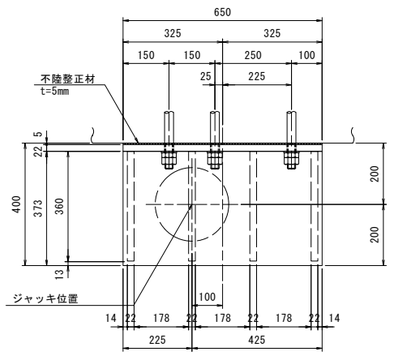
注) G1は勝手反対のこと。



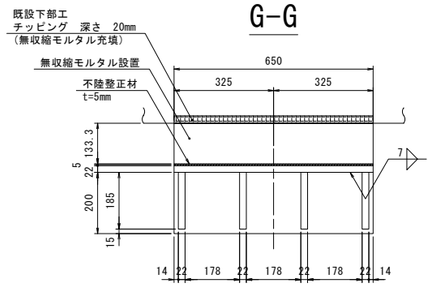
E-E



F-F



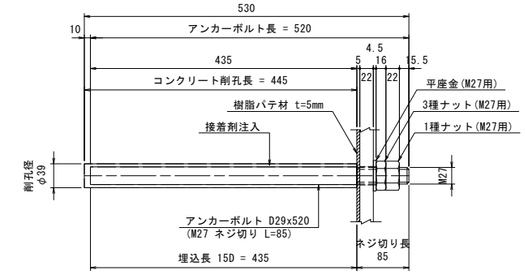
G-G



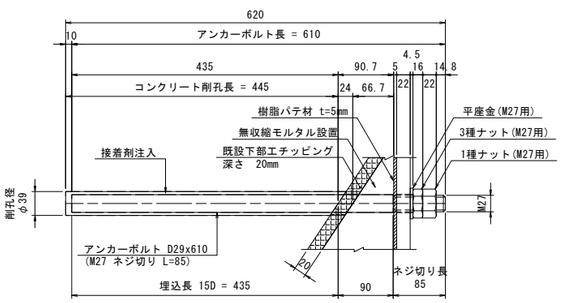
ジャッキアップブラケット
1基当たり数量(製作数:2基)
- 1-BASE PL 575x22x650
- 1-FLG PL 373x22x650
- 1-FLG PL 200x22x650
- 4-RIB PL 360x22x520
- 6-Anc Bolt D29x520(SD345)
- 3-Anc Bolt D29x610(SD345)
- 9-Nut M27(1種)(SS400)
- 9-Nut M27(3種)(SS400)
- 9-座金 M27(SS400)

アンカーボルト詳細 S=1:5

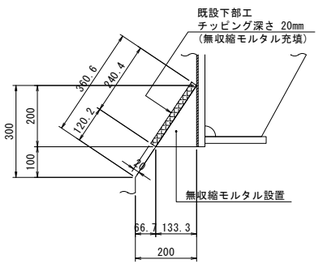
上段・中段



下段



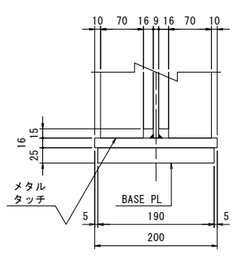
"A" 部詳細 S=1:10



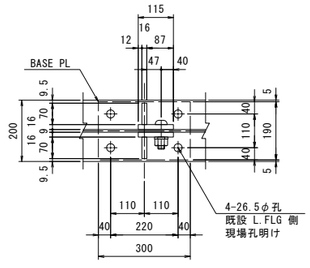
ジャッキアップ用補剛材
1基当たり数量(製作数:2基)
- 2-STIFF PL 70x16x1000
- 2-BASE PL 115x16x1000
- 10-TCB M22x80(S10T)
- 1-BASE PL 190x28x300(SS400)
- 2-TCB M22x75(S10T)
- 2-TCB M22x80(S10T)

現場孔明け工
1箇所当たり数量(全:2箇所)
- 24.5φx10箇所 ・・・ 既設WEB
- 24.5φx 4箇所 ・・・ 既設 L.FLG

"a" 部詳細 S=1:5



C-C



注記

1. 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。
2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 既設のコンクリート構造物に削孔を行う場合は既設の鉄筋に損傷を与えないように事前に入念に調査を行い施工すること。
5. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
6. 特記なきスカーラップは35Rとする。
7. ⊕印はTCB M22(S10T)を示す。ボルト孔は既設φ24.5 新設φ26.5とする。
8. ジャッキアップ補剛材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
9. ジャッキアップブラケットは全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
10. アンカーボルトは接着系アンカーとする。

【馬路橋】

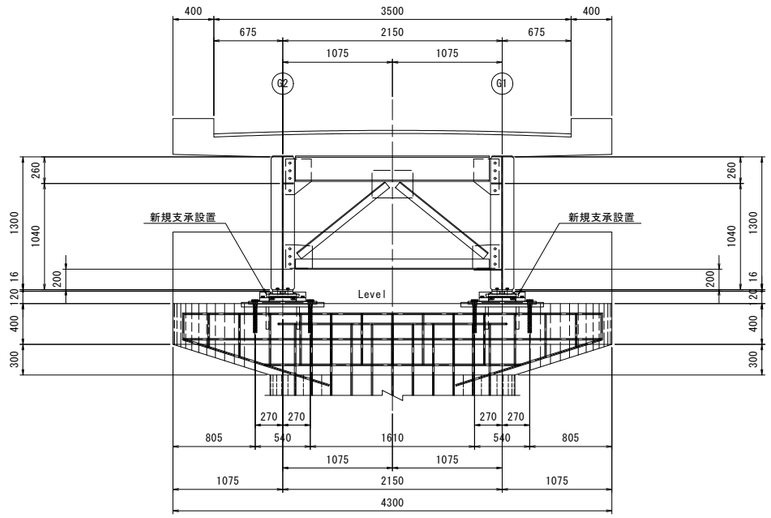
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	支承取替工詳細図(その1)		
縮尺	1:30	図面番号	6 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

支承取替工詳細図(その2) S=1:20

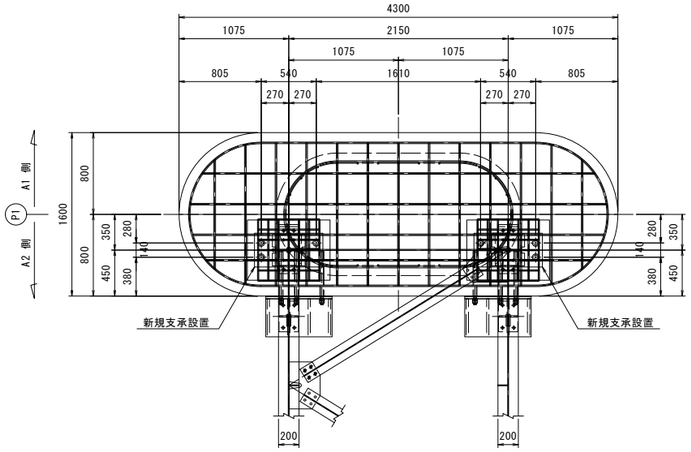
(馬路橋)

新規支承取付図 S=1:30

正面図

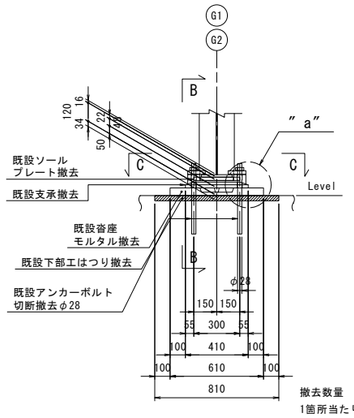


平面図

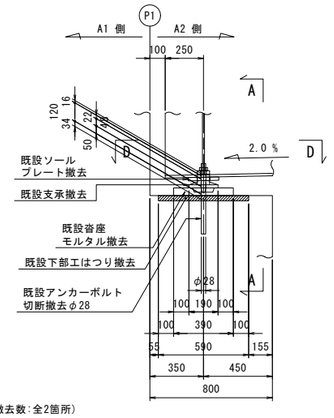


既設支承撤去詳細図

A-A

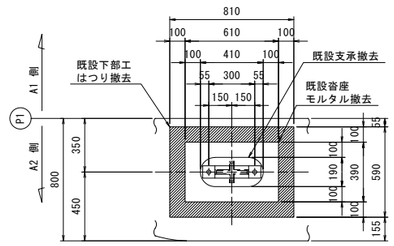


B-B

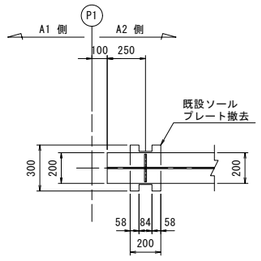


撤去数量
1箇所当たり数量(撤去数:全2箇所)
既設支承 ・・・ 1基
1-Sole PL 200x22x300(SS41)

C-C

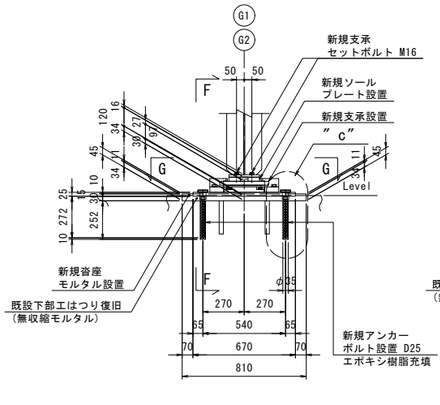


D-D

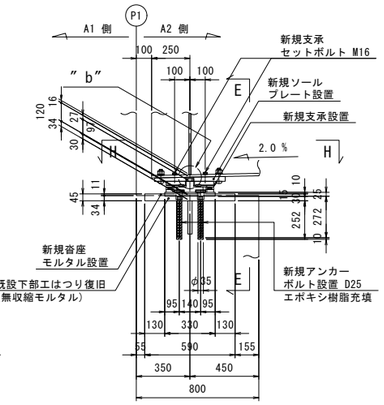


新規支承取付詳細図

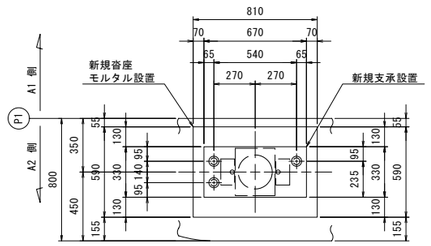
E-E



F-F

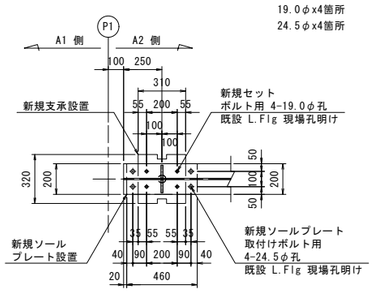


G-G



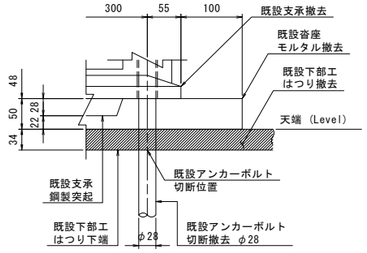
注) 本図はG2側で作図のことG1側は勝手反対のこと。

H-H

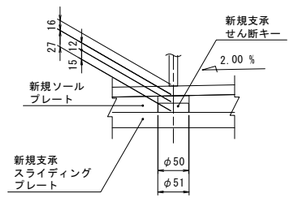


現場孔明け工
1箇所当たり数量
19.0φx4箇所
24.5φx4箇所

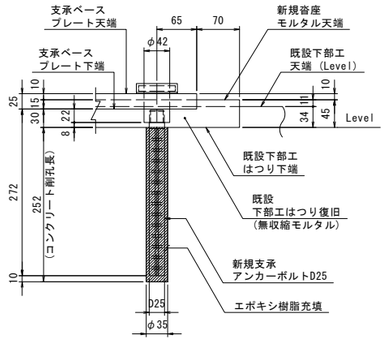
"a" 部詳細 S=1:5



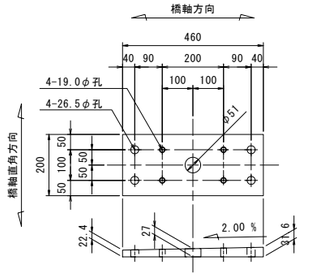
"b" 部詳細 S=1:5



"c" 部詳細 S=1:5



新規ソールプレート詳細 S=1:10



新規ソールプレート
1基当たり数量(製作数:2基)
1-SOLE PL 200x32x460(SM490B)
2-TCB M22x75(S10T)
2-TCB M22x85(S10T)

注記

1. 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。
2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 既設のコンクリート構造物に削孔を行う場合は既設の鉄筋に損傷を与えないように事前に入念に調査を行い施工すること。
5. ⊕印はTCB M22(S10T)を示す。
ボルト孔は既設φ24.5 新設φ26.5とする。

【馬路橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	支承取替工詳細図(その2)		
縮尺	1:20	図面番号	7 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

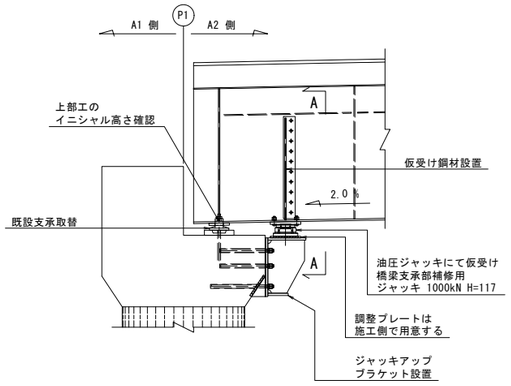
支承取替工詳細図(その3) S=1:30

(馬路橋)

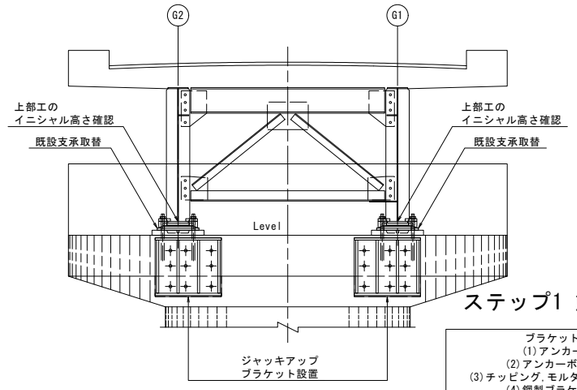
支承取替ステップ図

ステップ1（仮受工）

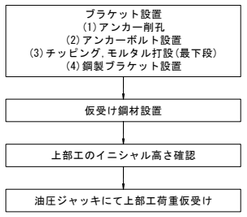
側面図



正面図

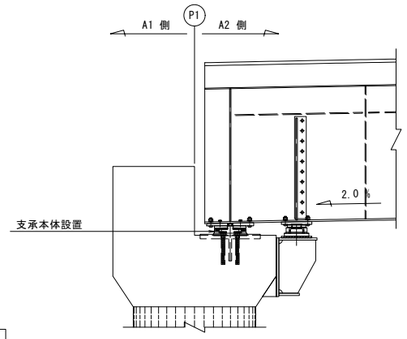


ステップ1 施工手順

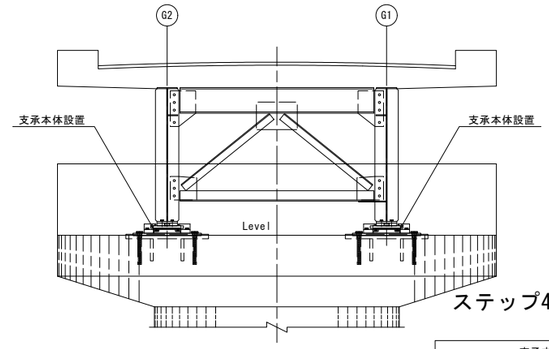


ステップ4（支承取付工）

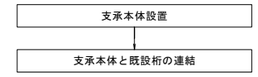
側面図



正面図

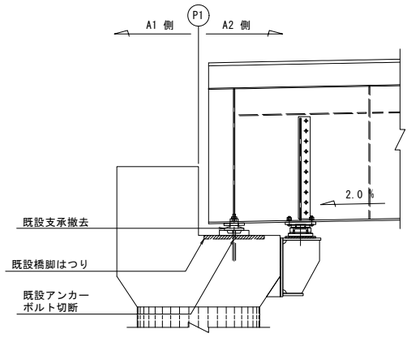


ステップ4 施工手順

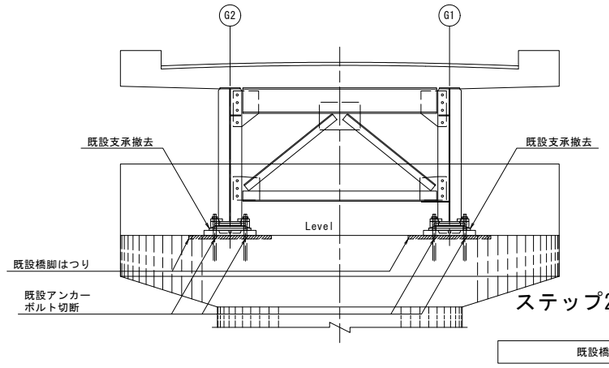


ステップ2（既設支承撤去工）

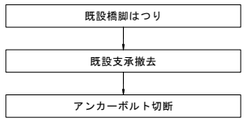
側面図



正面図

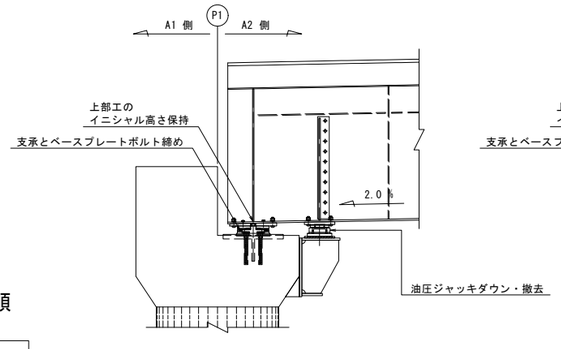


ステップ2 施工手順

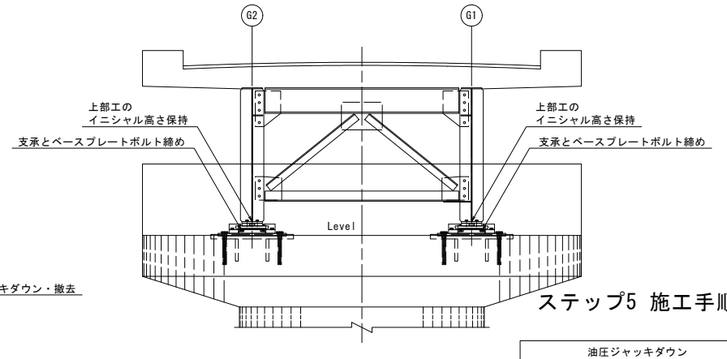


ステップ5（仮受け完了）

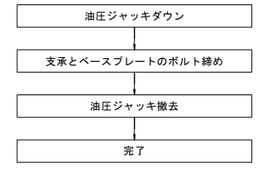
側面図



正面図

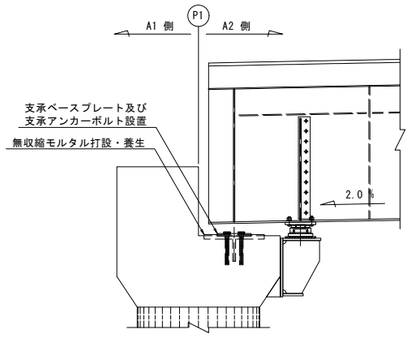


ステップ5 施工手順

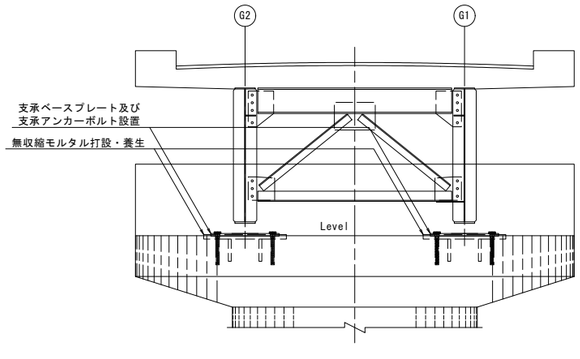


ステップ3（ベースプレート設置工）

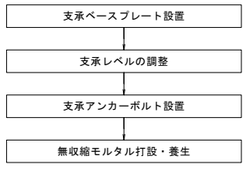
側面図



正面図

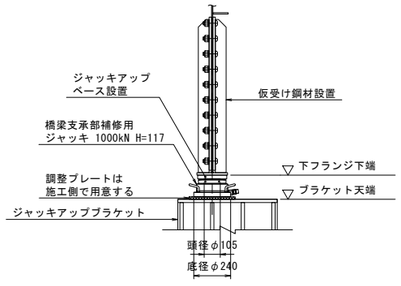


ステップ3 施工手順



ジャッキ据え付け要領図

A-A S=1:20



注記

1. ジャッキアップ量は必要最小限にとどめることに留意し、供用中のジャッキアップ量は3mm以下とする。
2. ジャッキアップの計画については仮受け支点各桁の反力のアンバランスが生じないよう、連動ジャッキの使用、ジャッキアップ量の計測、反力計測を行う。

【馬路橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	支承取替工詳細図(その3)		
縮尺	1:30	図面番号	8 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

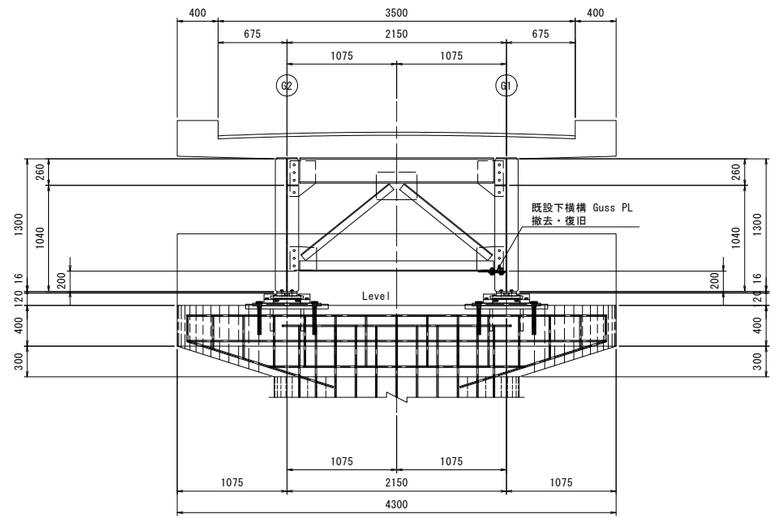
支承取替工詳細図(その4)(参考図) S=1:30

(馬路橋)

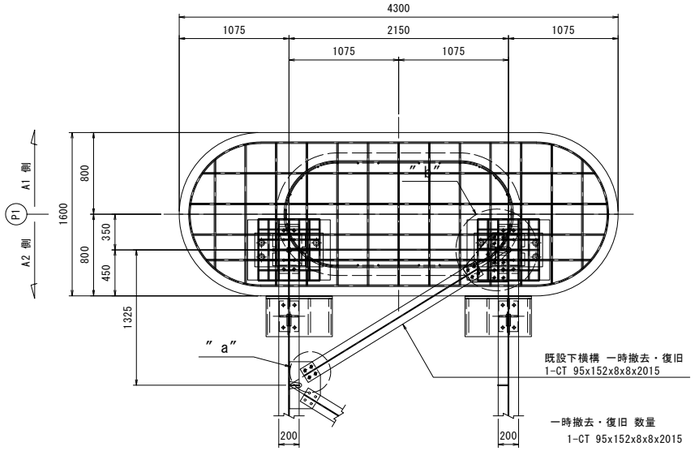
※計画上では、支承アンカーボルトと既設鉄筋およびG1側ガセットプレートは干渉していない。
支承アンカーボルト位置変更によって、G1側ガセットプレートと干渉する場合は、下図に従い、ガセットプレートを一時撤去・復旧すること。

既設下横構 一時撤去・復旧図

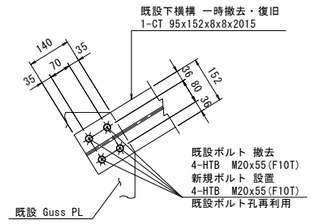
正面図



平面図



〃a〃部詳細 S=1:10



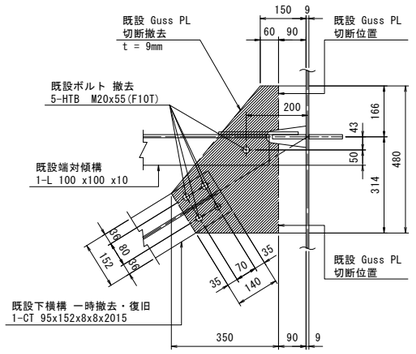
既設下横構 一時撤去・復旧 数量

新規取付ボルト数量
4-HTB M20x55(F10T)

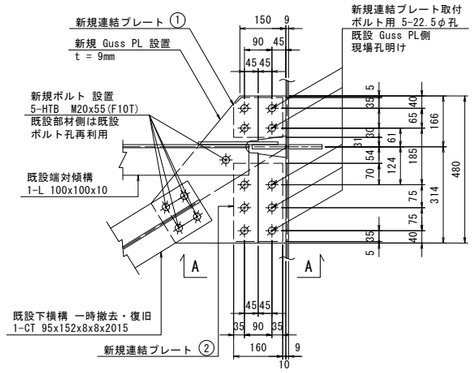
既設取付ボルト撤去数量
4-HTB M20x55(F10T)

〃b〃部詳細 S=1:10

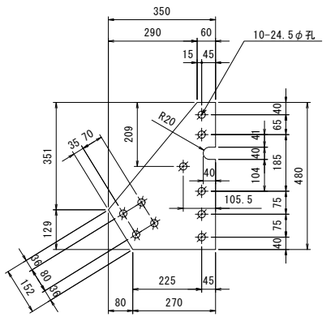
現状図



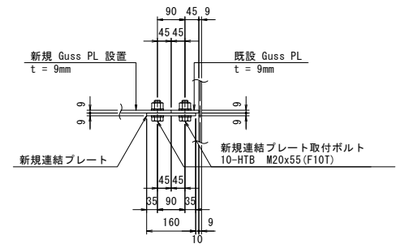
復旧図



新規 Guss PL詳細 S=1:10

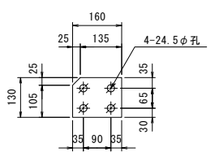


A-A S=1:10

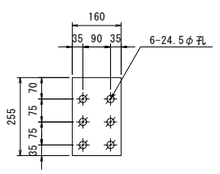


新規連結プレート詳細 S=1:10

新規連結プレート ①



新規連結プレート ②



既設下横構 一時撤去・復旧 数量

新規取付ボルト数量
5-HTB M20x55(F10T)

新規ガセットプレート・連結プレート数量
1-GUSS PL 350x9x480 [ネット率：67%]
1-SPL PL 160x9x130
1-SPL PL 160x9x255
10-HTB M20x55(F10T)

現場孔明け工
22.5φx5箇所

既設取付ボルト撤去数量
5-HTB M20x55(F10T)

既設ガセットプレート撤去数量
1-GUSS PL 350x9x480(SS41) [ネット率：67%]

注記
1. 既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。
2. 鋼材の加工は現橋の調査・計測を行い構造物の形状を最終的に決めてから行うこと。
3. 現橋の調査・計測を元に構造物の形状を変更する場合は必要に応じて応力計算を行うこと。
4. 特記なき材質は全てSS400とする。
5. ※印はHTB M20(F10T)を示す。
ボルト孔は既設φ22.5 新設φ24.5とする。

【馬路橋】

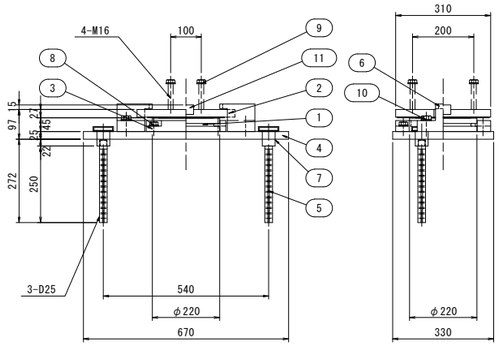
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	支承取替工詳細図(その4)(参考図)		
縮尺	1:30	図面番号	9 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

支承詳細図 S=1:10

（馬路橋）

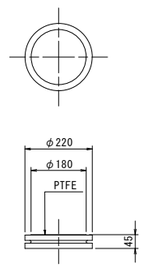
P1 固定ゴム支承装置（弾性荷重支持板）

断面図
（橋軸直角方向）

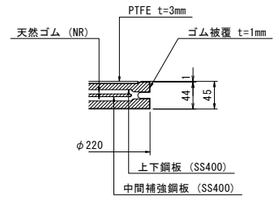


側面図
（橋軸方向）

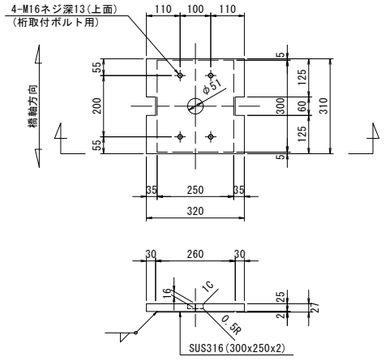
① 弾性荷重支持板
（500KN用）



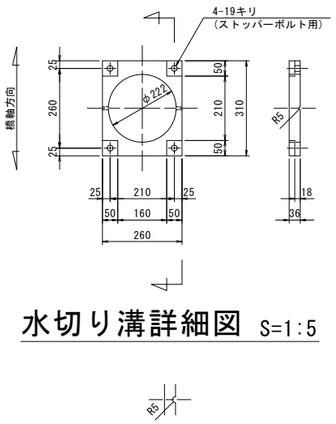
荷重支持板詳細図 S=1:5



② スライディングプレート

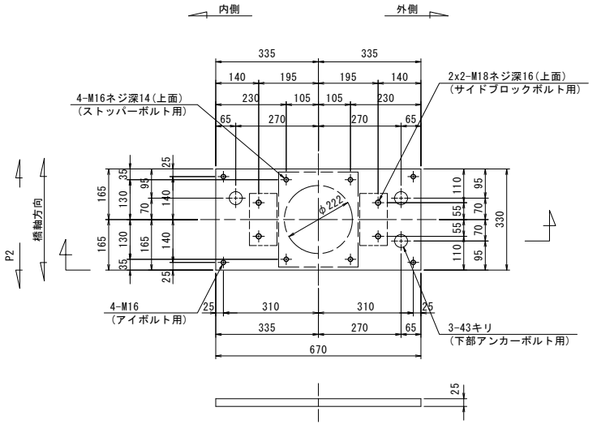


③ ストッパー

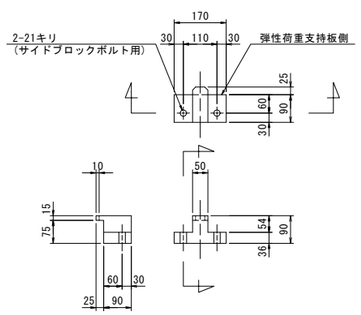


水切り溝詳細図 S=1:5

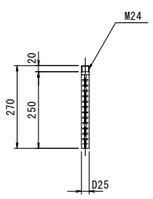
④ ベースプレート



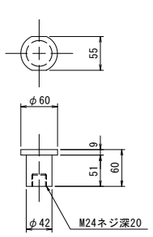
⑥ サイドブロック



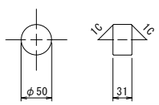
⑤ 下部アンカーボルト



⑦ 下カップラー S=1:5



⑪ せん断キー S=1:5
上用



設計条件

反力(kN)			P1
最大反力		Rmax	450
最大反力(回転照査用)		Rmax2	330
死荷重反力		RD	220
照査荷重		R1L	115
最大水平力	橋軸方向	RHeq1	110
	橋軸直角方向	RHeq2	55
	サイドブロック	RHeq3	55
上向きの地震力		Ru	-22
変位量(mm)			
照査荷重時の変位量		δcL	0.639
回転変位量		δr	0.533
水平変位量	常時・橋軸方向	ΔL1	-
	地震時・橋軸方向	ΔLe1	-
	地震時・橋軸直角方向	ΔLe2	-
性能			
ゴムの種類及び呼び		材料・G	NR・G10
圧縮ばね定数(kN/mm)		Kv	180
試験変位量	せん断ひずみ(%)	γS	-
	変位量(mm)	UB	-

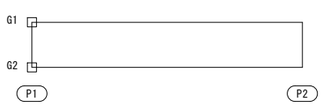
材料表 （1組当り）

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	弾性荷重支持板	NR, SS400, PTFE	1	9.1	NR(天然ゴム)
②	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	19.6	
③	ストッパー	SM490A or SCW480N	1	10.3	
④	ベースプレート	SM490A	1	42.3	
5	下部アンカーボルト	SD345	3	3.2	
⑥	サイドブロック	SM490A or SCW480N	2	12.3	
⑦	下カップラー	S45CN	3	1.9	
⑧	ストッパーボルト，ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.3	
⑨	桁取付ボルト，ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.7	
⑩	サイドブロックボルト，ワッシャー	強度区分 8.8	4	0.7	
⑪	せん断キー	SM490A or S35CN	1	0.5	上用
12	ゴムキャップ	EPDM	3	0.1	
13	アイボルト	SS400	-	-	M16
			合計	101.0	(kg)

※1 道路橋支承便覧(H16)準拠。
※2 使用材料は道路橋支承便覧2.9に適合。
※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
※7 アイボルト穴は用済み後穴埋めのこと。
※8 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
※9 スライディングプレートのSUS溶接部は高濃度亜鉛末塗装とする。
※10 全体吊りはアイボルトを用いるとする。

⑧	ストッパーボルト，ワッシャー	M16x35	強度区分 8.8
⑨	桁取付ボルト，ワッシャー	M16x100	強度区分 8.8
⑩	サイドブロックボルト，ワッシャー	M18x55	強度区分 8.8

位置図



【馬路橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	支承詳細図		
縮尺	1:10	図面番号	10 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

支承部補修詳細図 S=1:10

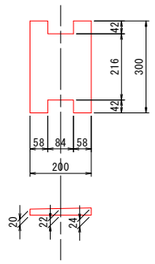
（馬路橋）

支承防錆工

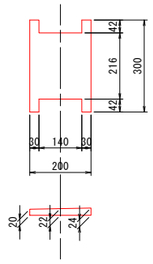
※塗装塗替工施工時に併せて行う。
塗装系はRc-IIとする。

第1・3径間

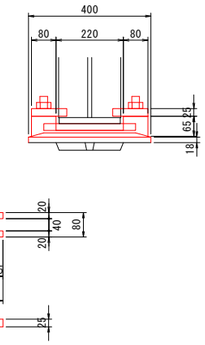
固定
1-PL 200x24x300



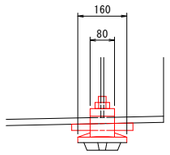
可動
1-PL 200x24x300



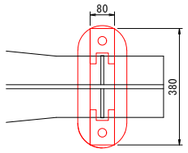
正面図



側面図

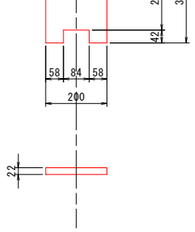


平面図

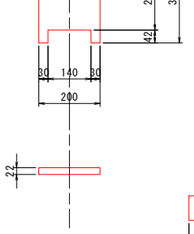


第2径間

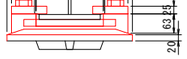
固定
1-PL 200x22x300



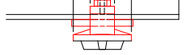
可動
1-PL 200x22x300



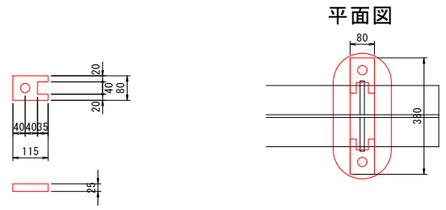
正面図



側面図



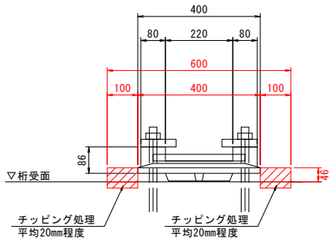
平面図



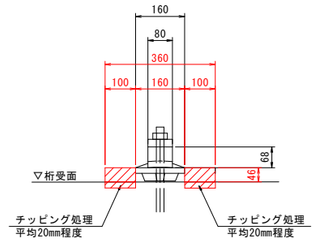
沓座モルタル打換工

第1・3径間

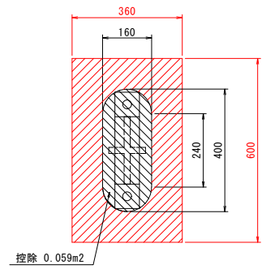
正面図



側面図

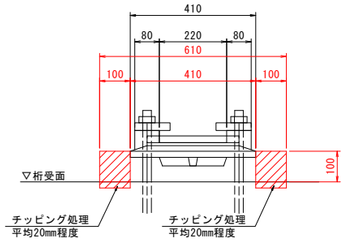


平面図

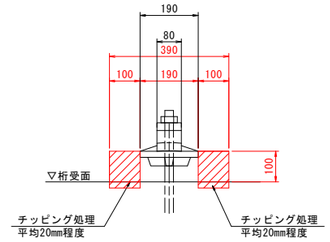


第2径間

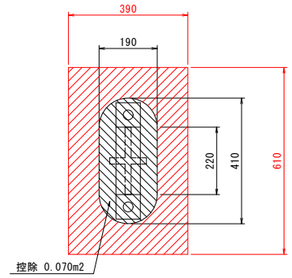
正面図



側面図

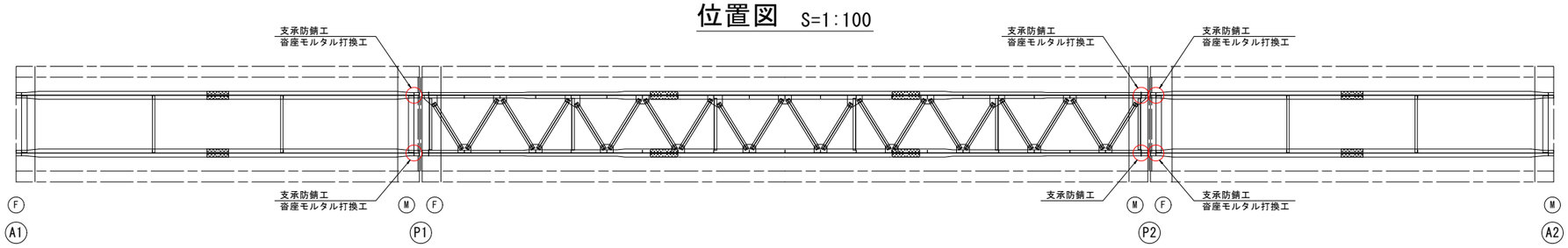


平面図



注）
1. モルタル撤去範囲は、支承本体直下を除くものとする。
2. 施工にあたっては現地計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。

位置図 S=1:100



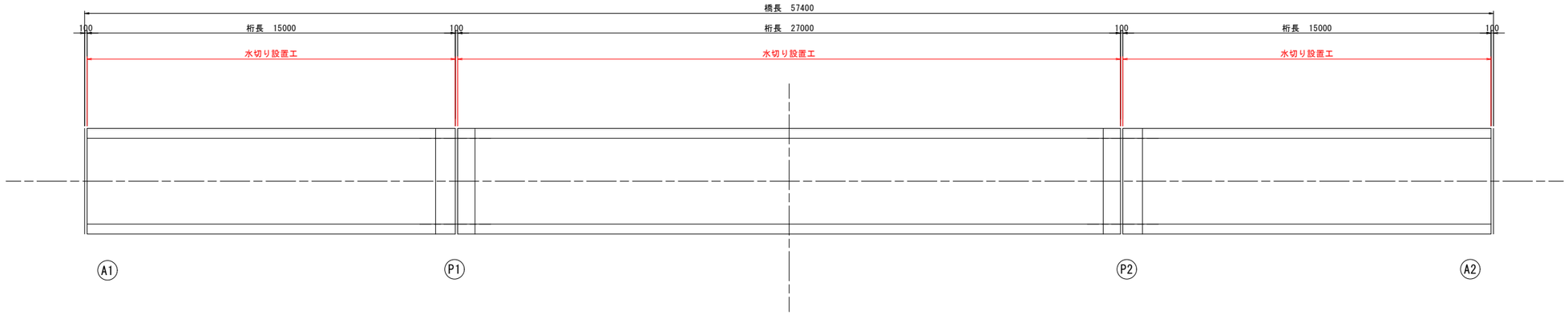
【馬路橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	支承部補修詳細図		
縮尺	1:10	図面番号	11 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

水切り設置工詳細図 S=1:100

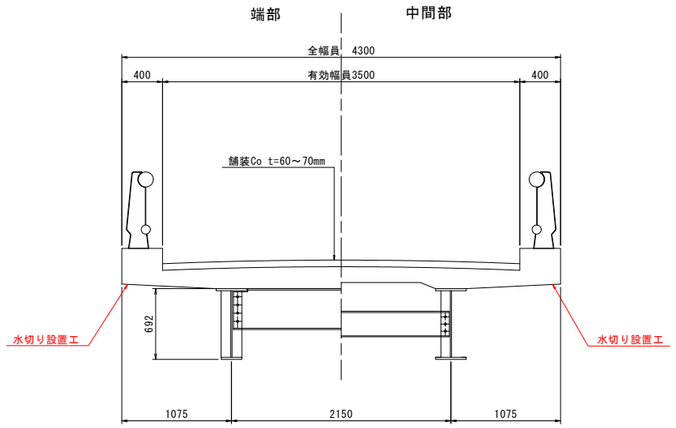
（馬路橋）

平面図

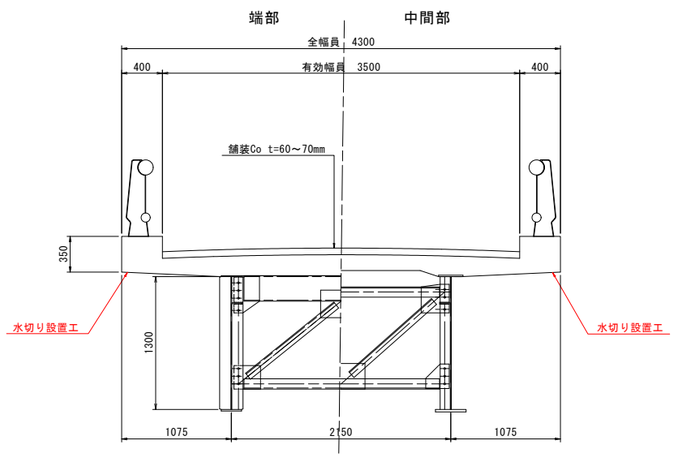


断面図 S=1:30

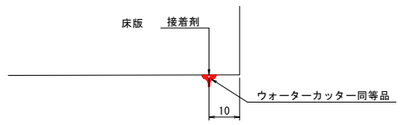
側径間



中央径間

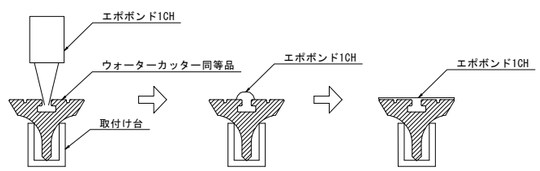


水切り設置詳細図



注）地覆側面からの漏水対策として、下面側へ水が流入しないように水切りを設置する。
注）施工手順について、接着性の観点から水切り設置を行った後に表面保護工の施工をすること。
〔水切り設置 → 表面保護工〕
注）本計画では水切り製品の「ウォーターカッター」を参考に示す。
注）「ウォーターカッター」同等品以上の水切りを設置すること。

橋梁桁端部水切り材



材料表

名　　称	寸　法	重　量	材　質
ウォーターカッター同等品	W25xH20xL1000	80g/m	EPDMゴムスポンジ(ライトグレー)

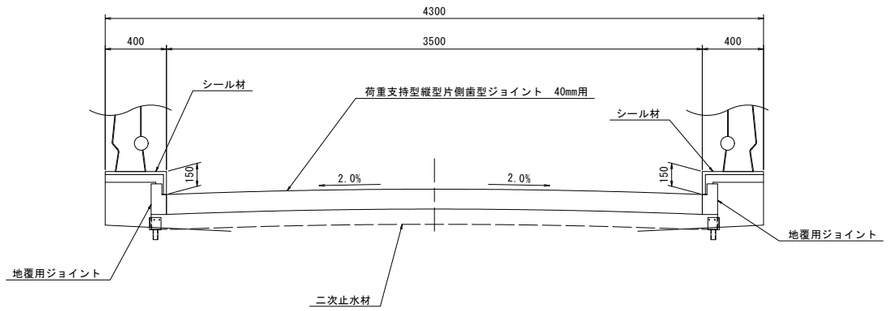
【馬路橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	水切り設置工詳細図		
縮尺	1:100	図面番号	12 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

伸縮装置取替工詳細図 S=1:20

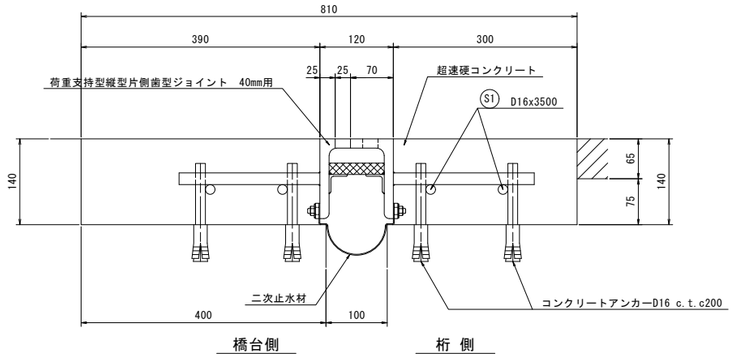
（馬路橋）

断面図

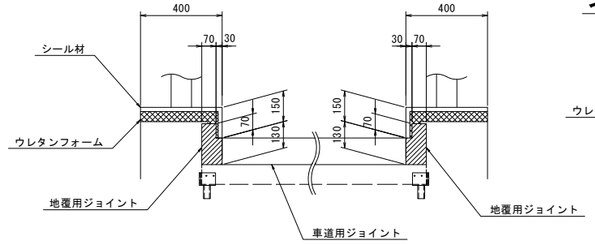


取付断面図 S=1:5

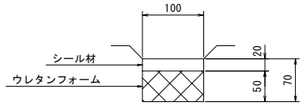
A1, A2



地覆部止水処理図 S=1:15



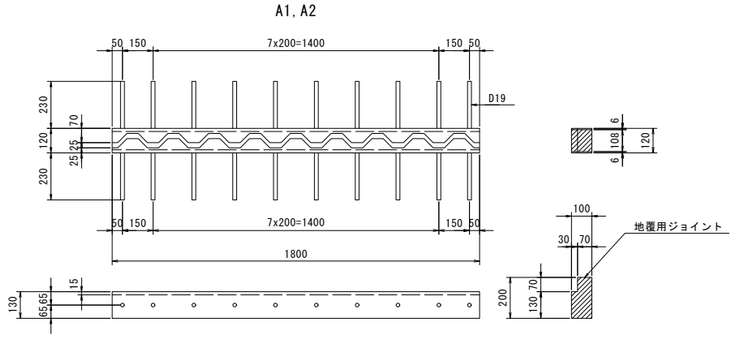
シール材詳細図 S=1:5



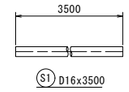
※ウレタンフォームの高さは参考値であり、
現場の状況により変更の事。

製品図 S=1:10

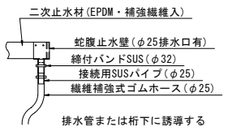
A1, A2



鉄筋加工図 S=1:100

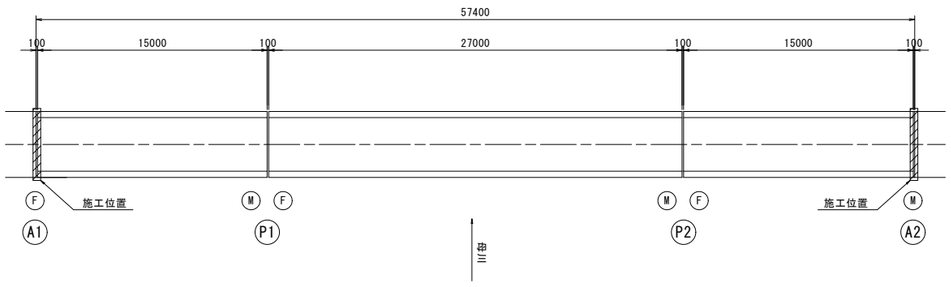


排水口参考図



排水管または桁下に誘導する

平面図 S=1:200



材料表

品　名		仕　様	単位	A1	A2	合計	備　考
荷重支持型縦型片側歯型ジョイント		40mm用	m	3.500	3.500	7.000	車道部
地覆用ジョイント		40mm用	m	0.200	0.200	0.400	地覆部 (L=100)
二次止水材(連続止水材本体取付型)		40mm用	m	3.700	3.700	7.400	車道部
超速硬コンクリート			m3	0.34	0.34	0.68	3時間圧縮強度=24N/mm2
シール材		シリコーン系	L	2.20	2.20	4.40	プライマー含む
ウレタンフォーム		軟質	L	8.25	8.25	16.50	w100xt50x550 (圧縮率x1.5)
補強鉄筋	S1	D16x3500 N=4本	kg	21.8	21.8	43.6	SD345
コンクリートアンカー		本体打ち込み式	本	68	68	136	SD345 D16 c.t.c. 200

	車道部
旧伸縮継手	簡易鋼製ジョイント
既設コンクリート	普通コンクリート

（注）1. 二次止水材排水口からの流末は、
橋座面に滞水せぬよう排水ホースを
取付し、誘導する事。
2. 排水ホース・固定金具の取付は、
足場設備が必要。
3. カッター幅及び斫り深さについては、
現場の状況により変更の事。
4. 既設鉄筋が利用可能の場合は、
あと施工アンカーを使用せず、
加工筋等を使用の事。

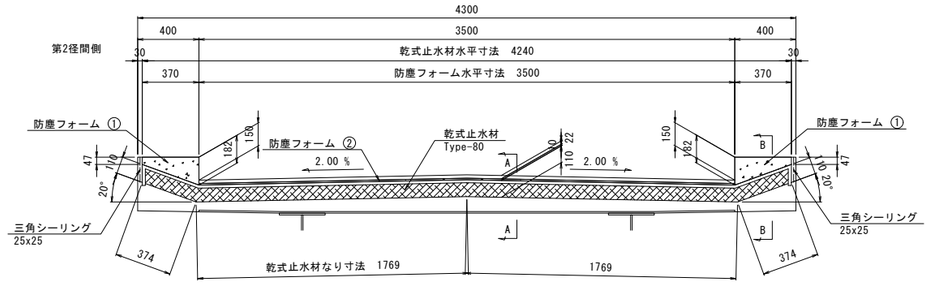
【馬路橋】

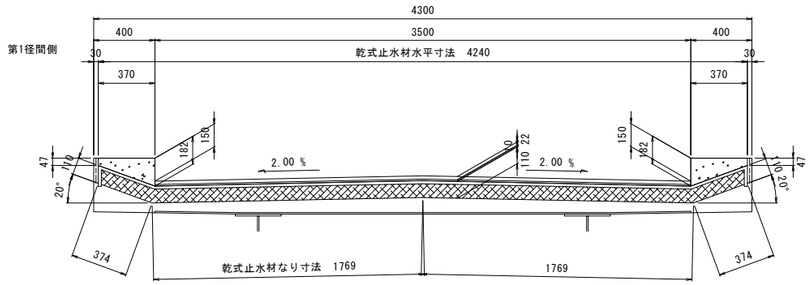
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	伸縮装置取替工詳細図		
縮尺	1:20	図面番号	13 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

伸縮装置非排水化工詳細図（その1） S=1:20

（馬路橋）
P1橋脚

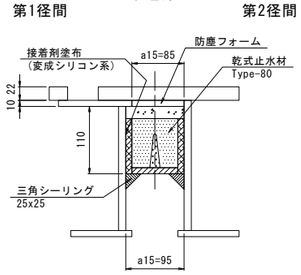
断面図





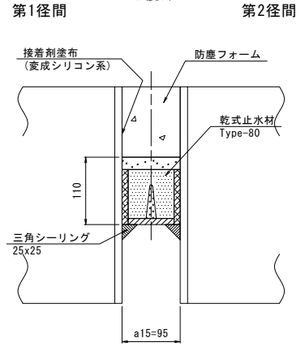
A-A S=1:5

車道部



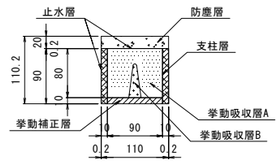
B-B S=1:5

地覆部



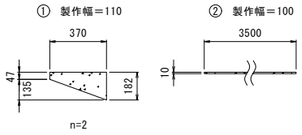
乾式止水材詳細図 S=1:5

[Type-80]

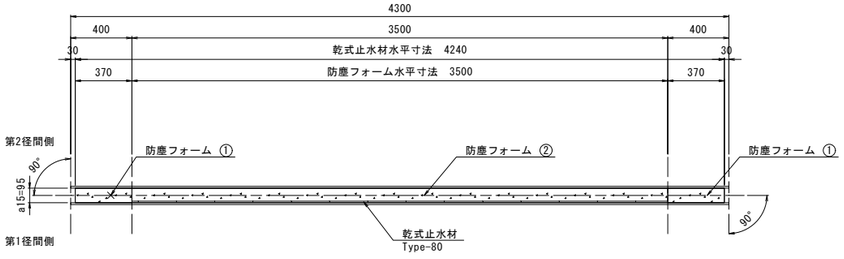


防塵フォーム詳細図

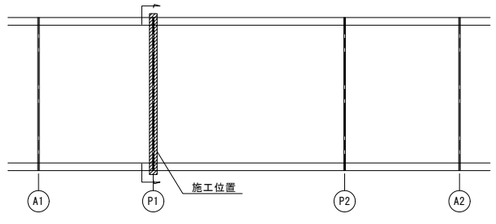
（ポリエチレンフォーム）
[製作幅=最大遊間+10]



平面図



配置図



注記）
1. 各種止水材を設置する際、伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実に行なうこと。
2. 接着剤(t=3)に接する両部材面及び各種シーリング(変成シリコン系)に接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.1kg/m2)を塗布すること。
3. 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。

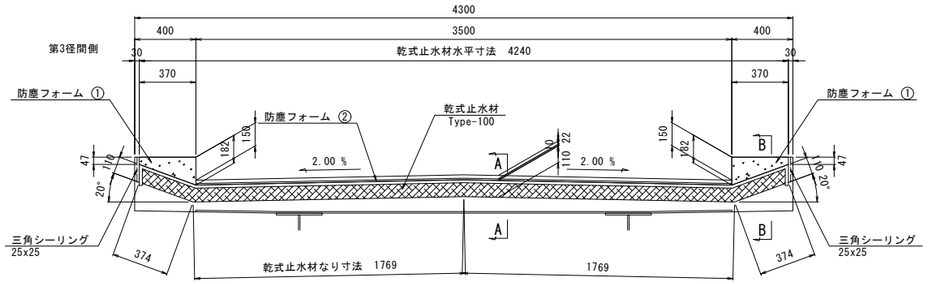
【馬路橋】

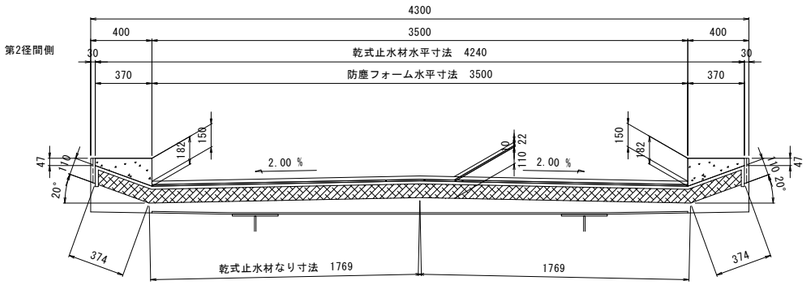
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	伸縮装置非排水化工詳細図(その1)		
縮尺	1:20	図面番号	14 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

伸縮装置非排水化工詳細図(その2) S=1:20

(馬路橋)
P2橋脚

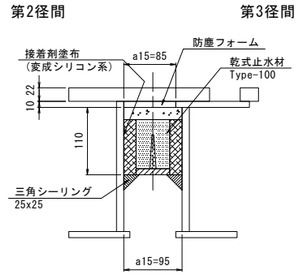
断面図





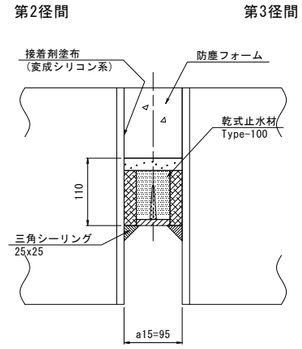
A-A S=1:5

車道部



B-B S=1:5

地覆部

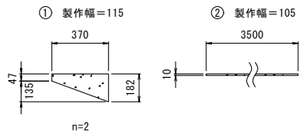


乾式止水材詳細図 S=1:5

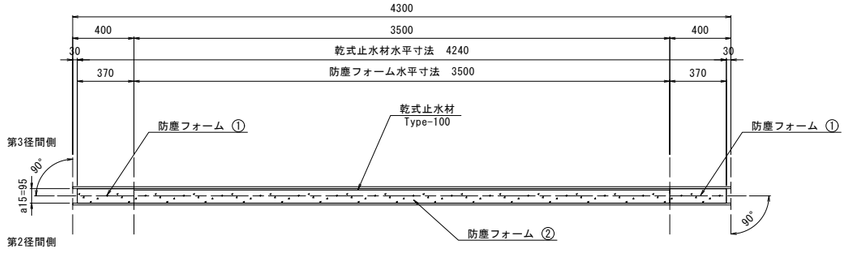
[Type-100]

防塵フォーム詳細図

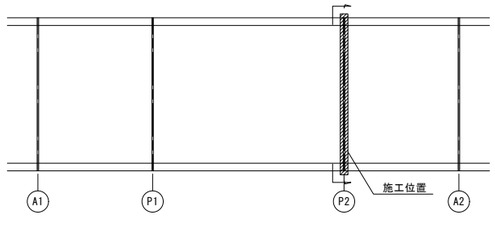
(ポリエチレンフォーム)
[製作幅=最大遊間+10]



平面図



配置図



注記)

1. 各種止水材を設置する際、伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実に行なうこと。
2. 接着剤(t=3)に接する両部材面及び各種シーリング(変成シリコン系)に接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.1kg/m2)を塗布すること。
3. 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。

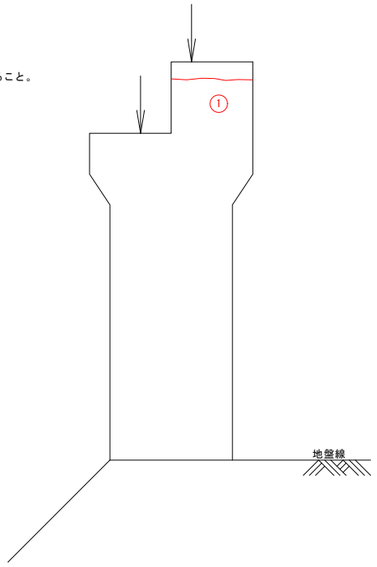
【馬路橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	伸縮装置非排水化工詳細図(その2)		
縮尺	1:20	図面番号	15 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

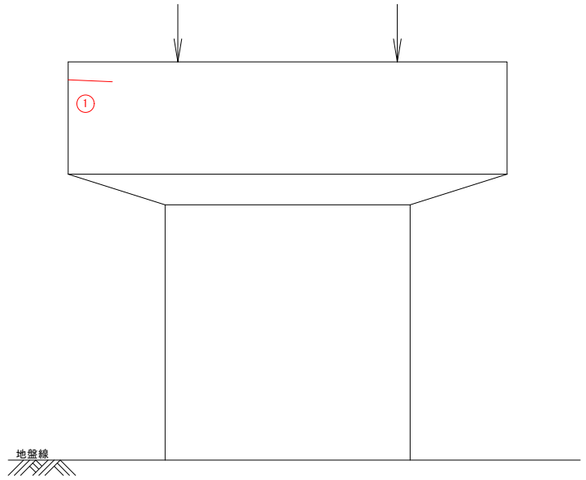
下部工補修詳細図　S=1:30

（馬路橋）
P1橋脚

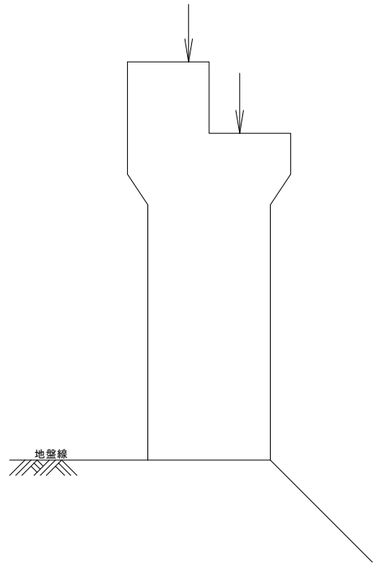
側面図
（下流側）



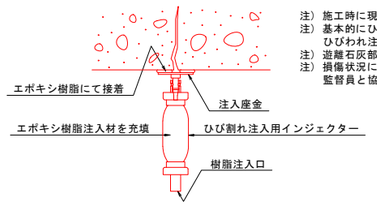
正面図
（起点側）



側面図
（上流側）

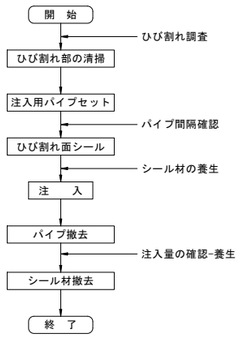


ひびわれ注入工詳細図

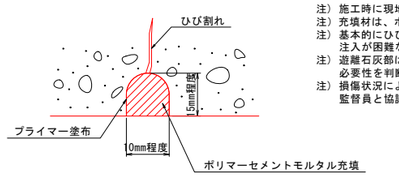


注）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注）基本的にひび割れ幅0.2～1.0mm以下を対象に
　　ひびわれ注入による補修とする。
注）遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修すること。
注）損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、
　　監督員と協議の上、最終決定すること。

〔ひび割れ注入工法の施工要領〕

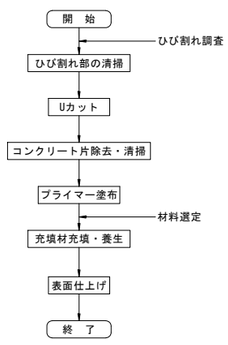


ひびわれ充填工法詳細図
（Uカット工法）

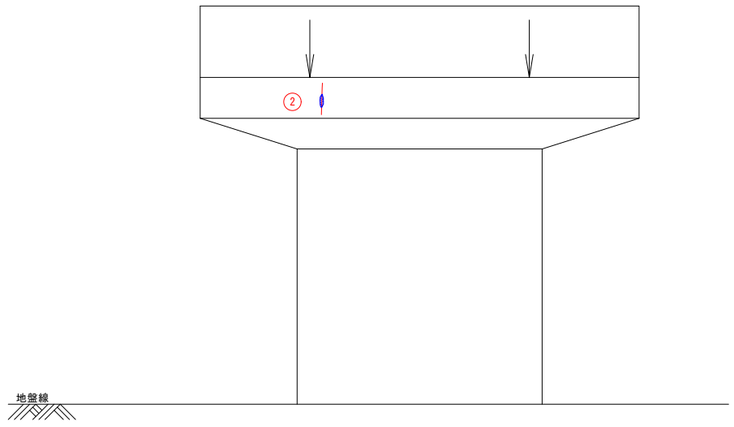


注）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注）充填材は、ポリマーセメントモルタルとする。
注）基本的にひび割れ幅1.0mm以上及び遊離石灰等で
　　注入が困難な箇所を対象とする。
注）遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修の
　　必要性を判断すること。
注）損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、
　　監督員と協議の上、最終決定すること。

〔Uカット工法の施工要領〕



正面図
（終点側）



ひびわれ注入工法

部材	箇所	幅　W【mm】	延長　L【mm】	延長　L【m】
P1橋脚梁部	①	0.30	1500	1.50

ひびわれ充填工法

部材	箇所	幅　W【mm】	延長　L【mm】	延長　L【m】
P1橋脚梁部	②	－	300	0.30

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水		豆板	
鉄筋露出		すりへり		その他	

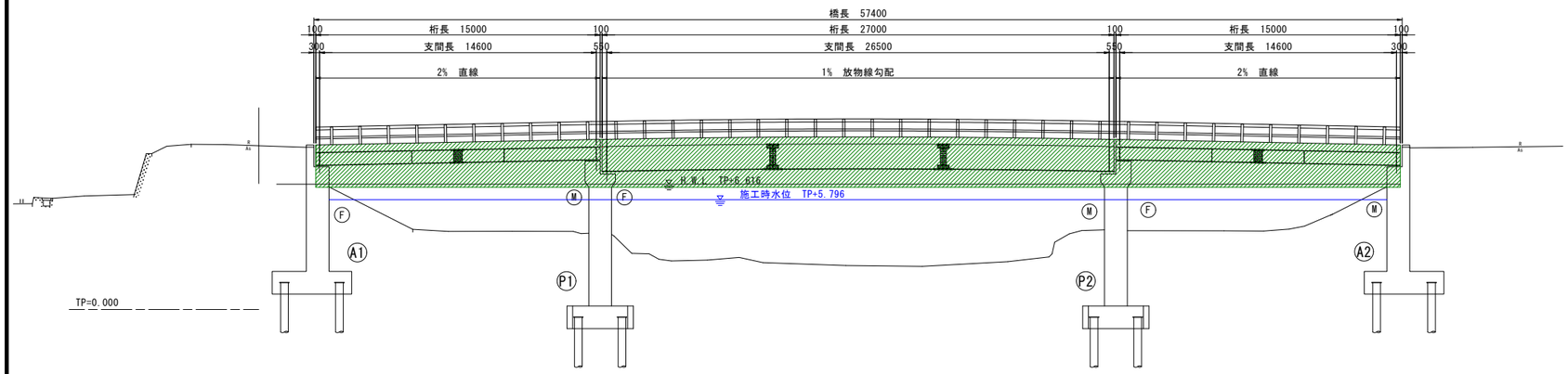
【馬路橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	下部工補修詳細図		
縮尺	1:30	図面番号	16 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

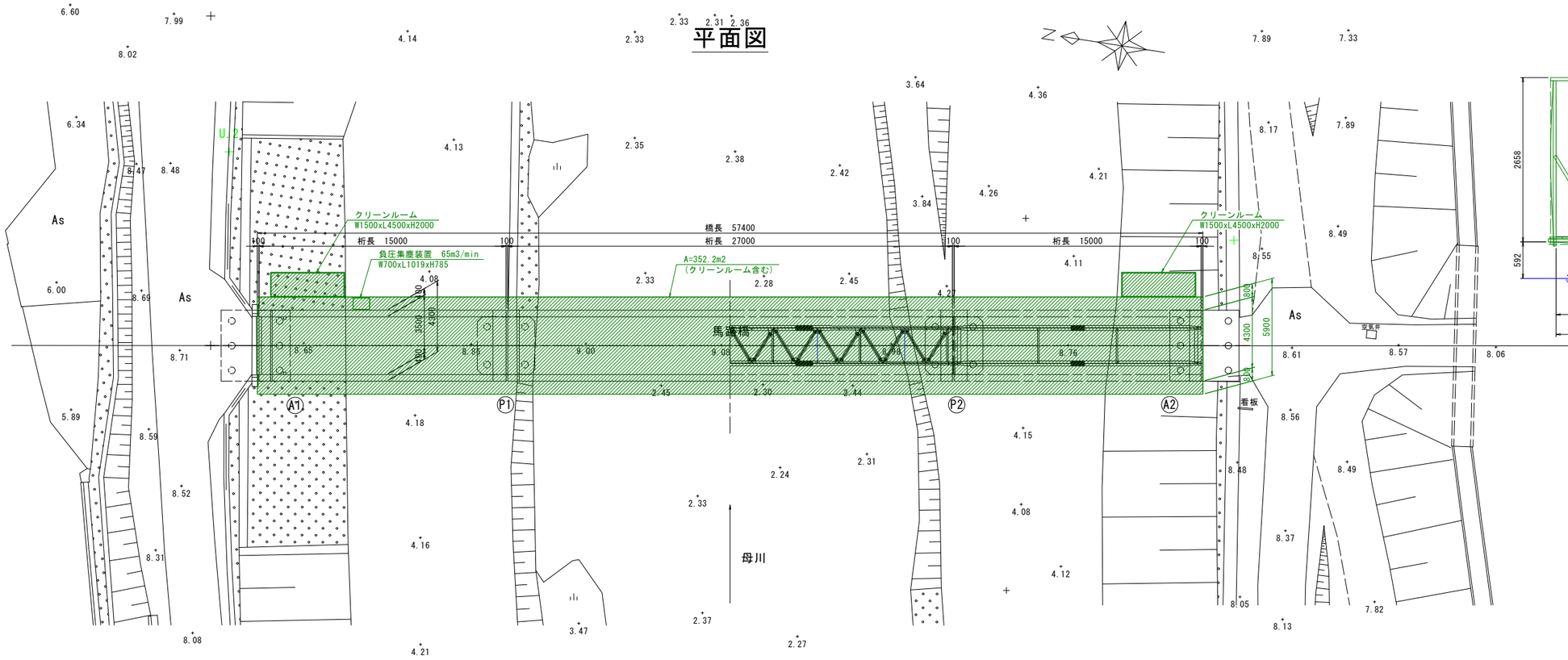
施工計画図(参考) S=1:150

(馬路橋)

側面図

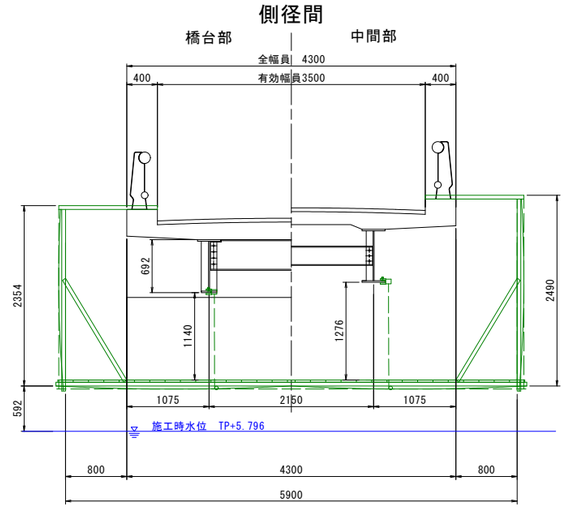


平面図

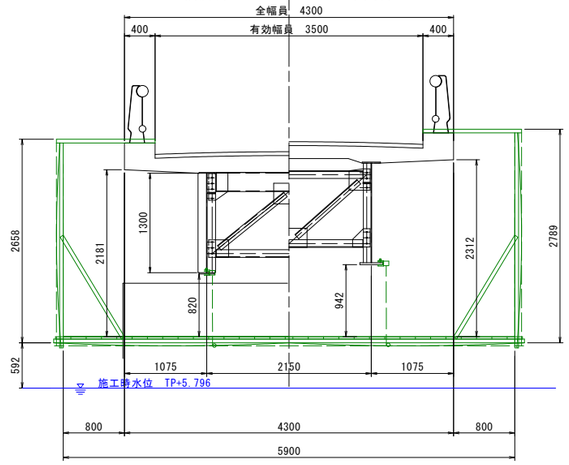


断面図 S=1:40

側径間



中央径間



注)
・施工は非出水期に行う。
・施工時水位以上に吊足場を設置する。

【馬路橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務(2)		
路線名等	町道馬路線		
工事箇所	海陽町高園字馬路		
図面名	施工計画図(参考)		
縮尺	1:150	図面番号	17 / 17
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		